

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年3月16日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続**する一方、**露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦**や各地の**民生インフラに対する攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)

: **死者約16万1520人**、戦車3492両、装甲車両6799両(「ウ」国防省3月15日)

: **死傷者約18万人**(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: **死傷者推定10万人以上**(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者8231人以上、負傷者1万3734人以上**(OHCHR3月13日)

露パイプライン企業「トランスネフチ」は、ブリャンスク州ノヴォジブコフの「ドルージバ」パイプライン・ポンプ施設において、UAVから投下されたとみられる爆発物が発見された旨発表(3月15日)

- ポウルセン・デンマーク国防相は、ドイツ及びオランダと共同で実施する「ウ」への**レオパルド1戦車供与**について、2個大隊分となる約80両を可能な限り迅速に提供することが第一の目標であり、**今春にも訓練に利用できるよう実車の引渡しを開始したい旨**発言(3月11日)
- スペイン国防省は、**同国が「ウ」に供与するレオパルド2A4戦車の操縦訓練及び整備訓練が完了した旨**発表(3月13日)

米シンクタンクISWは、バフムートにおける戦闘について、露国防省が「ワグナー」出資者プリゴジンの影響力拡大の阻止を企図し、「ワグナー」部隊を消耗させるため、**弾薬供給を制限している可能性**があると指摘(3月9日)

イフナート「ウ」空軍報道官は、昨年9月以降の**重要インフラに対する攻撃**で、露軍が**820発のミサイル及び650機のUAV**を使用した旨発言(3月15日)

米欧州軍の発表によれば、通常のISR任務のため**黒海上空の国際空域を飛行中の米空軍無人機MQ-9**に対し、露軍の**Su-27戦闘機2機**が「危険かつプロフェッショナルでない」妨害行動を取り、**Su-27戦闘機のうち1機がMQ-9のプロペラに衝突**。その結果、MQ-9を海上に降下させることを余儀なくされ、同機を喪失(3月14日)

「ウ」特殊作戦軍は、露軍が**装備や兵力の移動とメディアによる情報発信を組み合わせ**、ザポリッジャ州の**占領地域において戦力を増強しているかのような印象操作**をしており、同地域における「ウ」軍の反転攻勢は「ウ」の政治・軍事指導部にとり致命的なものとなるとのメッセージを拡散しているとの見方に言及(3月11日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

